

【家庭で子育てを支える事業について】

	産前・産後生活支援事業	ひとり親家庭等日常生活支援事業	ファミリー・サポート・センター	備考
対象者	要綱第4条より 市内に住所を有する母子手帳の交付を受けている妊婦又は産後16週までの方で、体調不良等で家事、育児を行うことが困難で昼間に他に家事、育児を行うことが出来ないと認められる家庭	要綱第3条より 市内に住所を有する母子家庭、父子家庭、寡婦であって、通学や疾病等で一時的に、日常生活に特に大きな支障が生じている家庭	会員制 おねがい会員：市内に居住または勤務する生後6か月から小学6年生の子の保護者 まかせて会員：飯塚市在住の20歳以上のもの	
支援内容	要綱第5条より (1) 乳幼児の保育 (2) 児童の生活指導 (3) 食事の準備及び片付け (4) 住居等の掃除及び整理整頓 (5) 身の回りの世話 (6) 生活必需品等の買い物 (7) 医療機関等との連絡 (8) 前号に掲げるもののほか市長が必要と認める家事	要綱第4条より 生活援助 家事、介護その他の日常生活の便宜、 子育て支援 保育サービス及びこれに附帯する便宜	要綱第10条より 冠婚葬祭、行事等による子どもの一時預かり 保育施設等への送迎 その他仕事と育児との両立及び育児負担軽減のために必要な援助	
支援日数、時間	産前 2回 産後10回 1日1回、2時間以内 (8:30~17:00) 国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から1月3日を除く日とする。	1月あたり10日以内 9:00~18:00 ただし、市長が特に認める場合は21時まで延長可能 国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から1月3日を除く日とする。	おねがい会員とまかせて会員が援助内容を協議のうえ、相互の責任の下で実施する	

利用料金	1時間あたりの基準額 生活保護世帯 0円 市町村民税非課税世帯 150円 その他の世帯 310円	1時間あたりの基準額 生活援助 生活保護世帯 0円 児童扶養手当支給水準の世帯 150円 その他の世帯 300円 子育て支援（児童1人あたり） 生活保護世帯 0円 児童扶養手当支給水準の世帯 70円 その他の世帯 150円	7:00~9:00 800円 9:00~19:00 500円 19:00~20:00 800円 （食事費・交通費は必要に応じて加算）	
委託先	要綱第3条より 支援員の派遣について、適切な実施が確保できると認められる社会福祉法人その他の団体（飯塚市シルバー人材センター）	要綱第2条より 家庭生活支援員の派遣等について、適切な実施が確保できると認められる社会福祉法人その他の団体（飯塚市シルバー人材センター）	要綱第4条より 適切な実施運営が確保できると認められる公益法人等（NPO法人つどいのひろばいづか）	
委託先の状況	今年度については、現在コロナの影響で、4月・5月に依頼がない状態。その影響で、他に仕事を持っている会員は良いが、そうでない人は仕事がない状態である。	飯塚市シルバー人材センターの会員数が減少しており、派遣可能な家庭生活支援員（女性）の確保に苦慮している。	支援者のコーディネートだけでなく、関係機関との連携を大切にしており、12年間のノウハウを活かし利用者の方に安心を与えている。	
手続き	申請書提出→利用決定通知→電話などで打ち合わせ	申請書提出→利用決定通知→電話などで打ち合わせ	会員登録講習会を受講した後に会員登録をする	
事業開始	平成20年4月	平成20年7月24日	2008年4月～	

<p>事業が始まってからの年間利用数の推移</p>	<p>※別紙資料参照</p>	<p>※別紙資料参照</p>	<p>平成 27 年度 387 件 平成 28 年度 338 件 平成 29 年度 289 件 平成 30 年度 163 件 令和元年度 426 件</p>	
<p>広報の仕方</p>	<p>母子手帳交付時、乳児家庭全戸訪問時、市 HP、子育てガイドブック等において周知している。</p>	<p>市ホームページ、子育てガイドブック等において周知している。</p>	<p>市報、市ホームページ、子育てガイドブック、子育て情報紙すくすく、隣組回覧、市内保育所、こども園、幼稚園、小学校へチラシを配布し周知している。</p>	
<p>支援の問題点・研修</p>	<p>支援の内容の線引きが難しい場合がある。 例) 掃除及び整理整頓の内容に対して屋外の草取りを依頼された等</p> <p>事前に必ず、県主催の「ふくおか子育てマイスター」の研修を受けられている。今年は開催できなかったが、毎年3月に飯塚市シルバー人材センター独自の研修として、保健センターから保健師を招聘し、世代での子育てに対する価値観・沐浴の練習・衛生面の話等の内容で行われている。また、人権に関するビデオ鑑賞を行うなど人権研修も行われている。 訪問後の報告などの際に気になる点があった等の場合に、センター内で対応を協議のうえ、個別に注意喚起や指導が行われている。</p>	<p>父子宅への家事支援で女性の家庭生活支援員が1人で訪問することになるので、断られる場合もある。</p>	<p>問題点：「おねがい会員」の登録数に対して「まかせて会員」の登録数が不足している。「まかせて会員」の支援できる範囲にも限りがあるため、特定の「まかせて会員」に支援依頼が集中している。そのため、会員数を増やすことや「まかせて会員」の負担軽減が必要である。</p> <p>研修：アドバイザー研修 (DV・ひとり親支援等) フォローアップ研修 (託児・保育園実習・救命救急講座の受講・コーチング研修)</p>	

## 産前産後サポート事業 利用実績調

	登録者数 (人)	利用者数 (人)	派遣延べ回数 (回)	利用時間 (時間)	年間委託料 (円)
平成28年度	37	33	116	217	332,010円
平成29年度	25	21	81	162	247,860円
平成30年度	34	33	85	167	255,510円
令和元年度	29	51	164	321	591,544円
令和2年度 (4月末現在)	1	0	0	0	0円

委託先・・・飯塚市シルバー人材センター

支援内容・・・炊事、洗濯、掃除 等

委託料単価 : 平成28年度～30年度まで 1,530円  
 令和元年9月まで(8%) 1,830円  
 令和元年10月から(10%) 1,864円

利用者負担金基準額(1時間あたり)  
 生活保護世帯 0円  
 非課税世帯 150円  
 上記以外の世帯(8%) 300円  
 上記以外の世帯(10%) 310円

## 飯塚市ひとり親家庭等日常生活支援事業 利用実績調

	登録者数 (人)			利用者数 (人)			派遣延べ回数 (回)			利用時間 (時間)			年間委託料 (円)
	母子	父子	合計	母子	父子	合計	母子	父子	合計	母子	父子	合計	
平成28年度	3	4	7	2	4	6	59	34	93	111	68	179	274,250
平成29年度	8	3	11	3	2	5	67	157	224	134	181	315	508,930
平成30年度	5	2	7	3	2	5	68	116	184	135	248	383	623,230
令和元年度	3	2	5	2	1	3	58	93	151	116	186	302	599,224
令和2年度 (4月末現在)	1	2	3	1	1	2	5	9	14	10	18	28	56,224

委託先・・・飯塚市シルバー人材センター

支援内容・・・食事の世話、住居の掃除

委託料単価 : 生活援助 【通常分】( 9:00~18:00) 1,864円/1時間  
 【夜間分】(18:00~21:00) 2,312円/1時間

生活援助 利用者負担金基準額(1時間あたり)

生活保護・非課税世帯 : 0円  
 児扶手当支給水準世帯 : 150円  
 上記以外の世帯 : 300円